

食べている限り、誰の隣にも「農」はある。
なのにどうして、
「農」の世界は私たちから遠いのか。

和食を撮って世界を魅了した『千年の一滴 だししょうゆ』の柴田昌平監督が、
「食」の原点である「農」と向き合った。
全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を、美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。
田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか、ビニールハウスの中で何を考えているのか。
多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの、そのコアな姿が、鮮やかに浮かび上がる。

互いに学び合いながら日本全体の
技術を上げてきた百姓たち
食べて支えるだけではなくもう
一歩踏み出したいと思った

監督 柴田昌平



柴田 昌平（しばた・しょうへい）
東京都出身。ドキュメンタリー映
像作家・映画監督。1963年生ま
れ。NHK、民族文化映像研究所を
経て独立。初監督作品『ひめゆ
り』で文化庁映画賞大賞受賞。代
表作に、山村に暮らす老人と高校
生の交流を記録した『森間き』、
食を切り口に日本人と自然の関係
を描き出す『千年の一滴 だしし
ょうゆ』など。NHKスペシャル『ク
ニ子おばと不思議の森』や『世
界里山紀行 フィンランド・森・妖精
との対話』など、海外で受賞した
作品も多い。農業をテーマとした
『百姓の百の声』で農業ジャーナ
リスト賞受賞。

みんなつまづく。そして前を向く。
転んでは立ち上がる復元力。

今後 経済が下向き、食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で、
いま必要とされる力はレジリエンシー：復元力。
百姓たちには本来これが備わっている。

映画に登場する百姓たちは、小手先では解決しないさまざまな矛盾を、独自の工夫で克服していく。

これは自然と向き合い作物を熟知する百姓たちの
叡智を訪ねたドキュメンタリー

「耕す人々」の世界の入り口が
ここにある。

映画公式サイト <https://www.100sho.info>



©プロダクション・エイシア
映画「百姓の百の声」より

2024年 1月21日 (日)上映会スケジュール

10:00～

勢和図書館「おめめさんかなあ味噌」

お味噌汁ふるまい

※ my箸・my椀の持参にご協力ください。

軽食販売

✿ お弁当 キノコ堂 ✿ 元丈の里 ゆめ工房

✿ つじ屋 ✿ pokapoka酵母 NICOPAIN

※ 出店スペースの入場には映画チケットが必要です。

12:30～14:40

『百姓の百の声』上映

※ 会場は図書館のエントランスホールです。防寒対策をしてお越しください。

15:00～16:30

交流会

柴田昌平監督をお迎えします！

【ゲスト】あきふゆ農園：鈴木彰子さん

百合農園：遠藤実華さん

映画の感想や地域の食と農について
それぞれの思いを語り合しましょう

「おめめさんかなあプロジェクト」とは

「おめめさんかなあ」は「元気？」「一生懸命やっ
ているね」といった意味で勢和地域で昔から使われ
て来たあいさつです。可愛らしい響きの中に相手へ
の温かい思いやりが感じられます。

「おめめさんかなあプロジェクト」は「大豆栽培～
味噌作りを通して、身体を使い食を生み出すことの
喜びを子どもたちに知ってほしい」との思いから、
16年前に勢和図書館で生まれました。今では勢和
小学校へと広がり、カリキュラムに位置付けられた
大きなプロジェクトになっています。

本や人との出会いから得るものは、発酵と同じく長
い時間をかけて醸成されるもの。地域の大豆をもと
に味噌を仕込むこの活動の思い出が、ひとりひとり
の中でゆっくりと育っていくことを願っています。
今回は図書館の「おめめさんかなあ味噌」と勢和の
食材で作ったお味噌汁をふるまいます。

チケット販売場所

—12月10日(日)チケット販売開始—

勢和図書館

10:00～18:00

【休館日：(火)、12/28～1/4】

多気図書館

10:00～18:00

【休館日：(月)、12/28～1/4】